

令和3年9月17日

奥出雲町教育魅力課

課長 永瀬 克己 様

阿井地区校区別協議会

会長 史陀 秀俊

小学校再編統合に関する意見・質問等について

平素は、阿井地区の教育振興に対し格別のご高配を賜りますこと厚くお礼申し上げます。

さて、阿井地区校区別協議会では、小学校再編協議にあたって町より提供頂いた資料をもとに保護者や児童の視点に立って、統合後により影響を受ける範囲等について検証作業を進めているところです。

その中でも、通学方法は保護者の皆様の関心も高く、再編前後で最も変化が生じる部分であるため丁寧かつ慎重な検証が必要であると考えております。

この度、この検証作業を通して明らかとなった課題と要望について下記の通り提出しますのでご検討いただきますようお願いいたします。

記

I 検証内容

(1)阿井小学校区からの通学者数の見込み

小学校統合予定の令和7年度には、阿井小学校区から52名の児童が通学する予定です。以降令和9年度までは、45名を超える児童の通学が見込まれます。一方、中学生についても、令和7年度に33名、それ以降も当面25名を超える生徒の通学が続くこととなります。

阿井小		R3	R4	R5	R6	R7(統合予定年)	R8	R9	R10	R11	R12			
1年	男	5	9	1	3	4	1	2	7	7	6	6	5	5
	女	2	1	3	5	4	5	1						
2年	男	8	5	9	4	3	1	1	2	3	7	7	6	6
	女	1	2	1	3	5	4	5	1					
3年	男	1	8	5	9	1	3	1	1	9	2	12	7	10
	女	2	4	2	1	3	5	4	5					
4年	男	7	4	8	5	9	1	3	16	4	8	4	2	1
	女	7	2	4	2	1	3	5	4					
5年	男	7	7	1	8	5	9	1	3	5	4	16	1	9
	女	6	7	2	4	2	1	3	7					
6年	男	2	7	7	4	8	5	9	15	4	3	16	1	8
	女	7	9	6	2	4	2	7	10					
児童数		61	62	56	50	52	49	45	42	41	38			
保護者数		39	41	38	35	38	36	31	30(推定)	27(推定)	24(推定)			

仁多中(阿井小校区)		R3	R4	R5	R6	R7(統合予定年)	R8	R9	R10	R11	R12
1年	男		2	7	7	4	8	5	9	1	3
	女		7	6	7	2	4	2	1	3	5
2年	男			2	7	7	1	8	5	9	1
	女			7	6	7	2	4	2	1	3
3年	男				2	7	7	1	8	5	9
	女				7	6	7	2	4	2	1
生徒数					36	33	32	25	29	24	25

(2)奥出雲交通保有車両の状況と登校時に利用可能な車両

中学生と小学生の登校時間帯が重なることから、現在町より示されている『検討たたき台』では、阿井地区の場合、中学生と小学生の利用するバス便を分けた2便体制での運用を検討されています。このうち小学生便は、児童数の推計をもとに登校時に使用可能なバスを奥出雲交通保有車両の中から確認すると、統合初年度から数年間について乗車定員の要件を満たす車両は9台ありますが、路線バスとして住民との混乗を考慮すると下記青枠内の5台の車両が現実的に運行で使用できる車両と考えます。

さらにこの中で、小学生全員が着席可能なバスは赤枠の1台のみとなります。ただし、一般の方の乗車が少ないことが前提となってきます。

奥出雲交通保有車両

令和3年6月1日

乗車定員(着席数)は運転手を含む
 大型 長さ9m以上又は乗車定員50名以上
 中型 長さ9m以上又は乗車定員50名以上
 小型 長さ7m以下で、かつ乗車定員29名以下

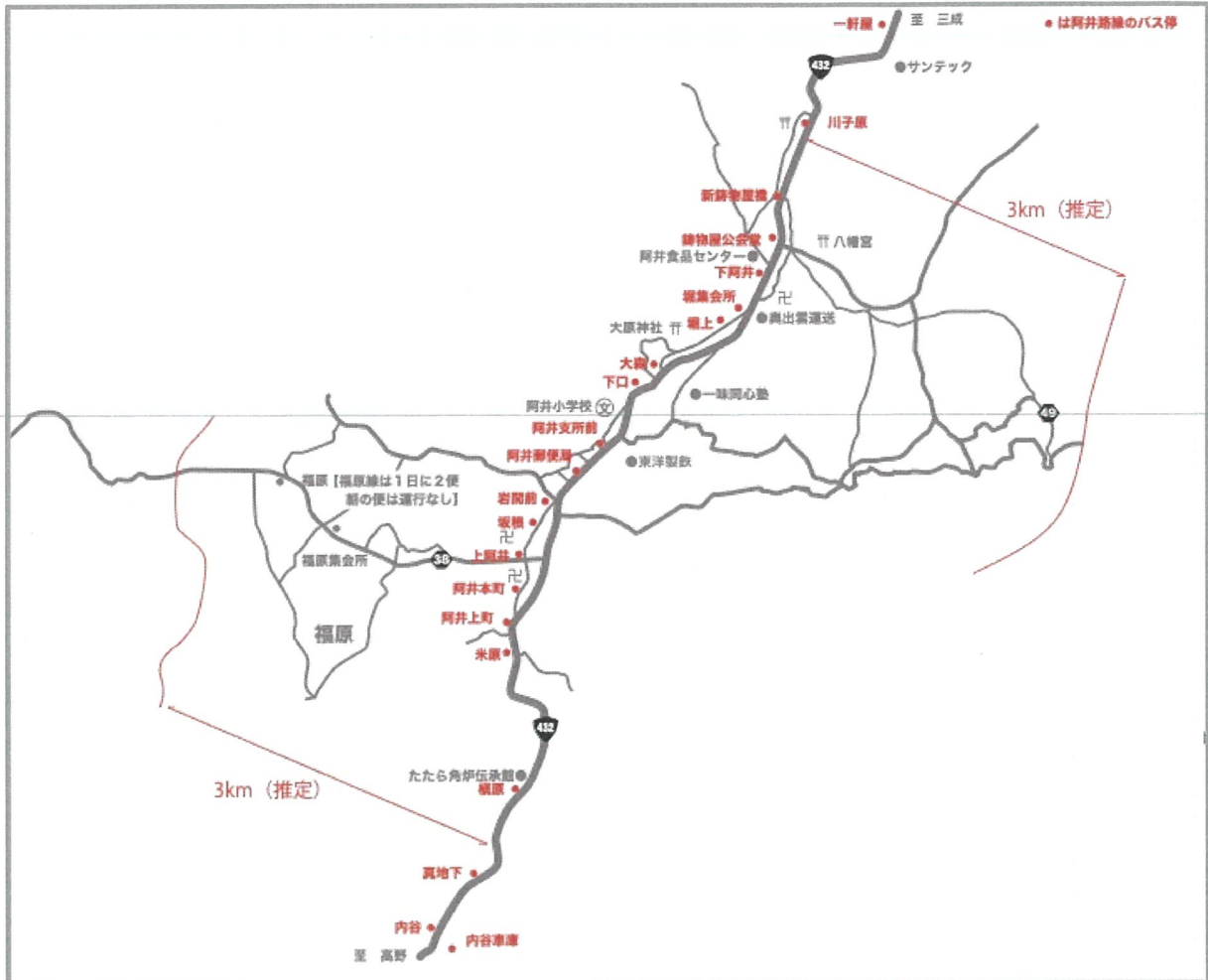
登録番号	車名	初年度登録年月	形式	乗車定員(乗務員)	長さ	幅	高さ	総排気量	車両総重量	型	
1	島根200か 487	三菱 平成23年11月2日	SDG-MM96FH	着席:29 立席:0 補助席:0	29	8m99cm	2m49cm	3m48cm	7.54L	11.385kg	中型
2	島根200か 787	日野 平成30年11月30日	2DG-RR2AJDA	着席:34 立席:0 補助席:7	41	8m99cm	2m34cm	3m11cm	5.12L	9.995kg	中型
3	島根200か 451	日野 平成22年9月29日	LKG-KV234L3	着席:34 立席:40 補助席:0	74	10m28cm	2m49cm	3m19cm	7.79L	14.170kg	大型
4	島根200か 498	三菱 平成24年2月24日	LKG-MP35FK	着席:28 立席:47 補助席:0	75	10m25cm	2m49cm	3m11cm	7.54L	14.085kg	大型
5	島根200か 681	三菱 平成28年9月29日	QKG-MP35FP	着席:54 立席:0 補助席:11	65	11m45cm	2m49cm	3m09cm	7.64L	14.335kg	大型
6	島根200か 452	いすず 平成22年9月29日	PDG-LR234J2	着席:29 立席:31 補助席:0	60	8m99cm	2m30cm	3m09cm	5.19L	11.540kg	中型
7	島根200か 453	いすず 平成22年9月29日	PDG-LR234J2	着席:29 立席:31 補助席:0	60	8m99cm	2m30cm	3m09cm	5.19L	11.540kg	中型
8	島根200か 496	いすず 平成24年2月23日	SDG-LR290J1改	着席:29 立席:30 補助席:0	59	8m99cm	2m31cm	3m08cm	5.19L	11.515kg	中型
9	島根200か 497	いすず 平成24年2月23日	SDG-LR290J1改	着席:29 立席:30 補助席:0	59	8m99cm	2m31cm	3m08cm	5.19L	11.515kg	中型
10	島根200か 520	いすず 平成24年12月18日	SDG-LR290J1	着席:29 立席:30 補助席:0	59	8m97cm	2m30cm	3m08cm	5.19L	11.445kg	中型
11	島根200か 790	日野 平成30年12月19日	2KG-KR290J3	着席:29 立席:29 補助席:0	58	8m99cm	2m30cm	3m03cm	5.19L	11.270kg	中型
12	島根200あ 182	三菱 平成29年3月30日	TPG-BG640G	着席:22 立席:0 補助席:6	28	6m99cm	2m01cm	2m76cm	2.99L	5.710kg	小型
13	島根200あ 209	三菱 令和2年3月30日	2RG-BG740G	着席:22 立席:0 補助席:6	28	6m99cm	2m01cm	2m77cm	2.99L	5.760kg	小型
14	出雲200あ 11	三菱 令和2年8月21日	2RG-BG740G	着席:22 立席:7 補助席:0	29	6m99cm	2m00cm	2m78cm	2.99L	5.775kg	小型
15	島根200あ 192	トヨタ ハイエース 平成30年2月26日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.995kg	小型
16	島根200あ 193	トヨタ ハイエース 平成30年2月26日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.995kg	小型
17	島根200あ 207	トヨタ ハイエース 令和1年11月18日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.995kg	小型
18	島根200あ 208	トヨタ ハイエース 令和1年11月27日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.995kg	小型
19	出雲200あ 4	トヨタ ハイエース 令和2年6月24日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.985kg	小型
20	出雲200あ 6	トヨタ ハイエース 令和2年7月16日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.985kg	小型
21	出雲200あ 9	トヨタ ハイエース 令和2年7月16日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.985kg	小型
22	出雲200あ 10	トヨタ ハイエース 令和2年7月16日	CBF-TRH228B	着席:13 立席:0 補助席:0	13	5m38cm	1m88cm	2m28cm	2.69L	2.985kg	小型

(3)阿井地区内バス停と路線バスの利用状況

阿井地区における奥出雲交通のバス停は、下図に示す通りです。

このうち、「堀上」と「鋳物屋公会堂」は、リハビリテーション学院学生の入居住宅と隣接しており、学生の多くは在学中に免許を取得し自動車通勤されますが、入学後当面の間バスを利用されることがあり、授業開始時刻の都合から小学生便に乗車されることが想定されます。

その他一般利用は、着席優先順位の高い高齢者等の利用が主となります。



(4)放課後児童クラブを利用する低学年の通学時手荷物の状況

放課後児童クラブを利用する児童の手荷物は、着替えなどを持参するため写真の通り多くなる傾向にあります。特に冬から春先にかけては着替えも嵩張り、入学後間もない1年生は体格も小さい上に荷物が多くなるなど、バランス保持に不安があります。



【通学の様子】写真撮影の児童は1年生（9月10日撮影）



II 阿井小学校区における路線バス通学（登校）の課題

上記の通り町提案内容をより具体的な視点から検証を行った結果、次の課題が明らかとなりました。

- ①統合後数年間は、提示された『検討たたき台』のように小学生と中学生で乗車便を分けたとしても、学生や一般の方の混乗を想定すると小学生乗車便の乗車率が相当程度高くなる。特に、小学生乗車便はほとんど小学生の占有状態となることが想定される。
- ②奥出雲交通には小学生全員が着席できる車両が現時点で1台しかなく、さらにその車両でも補助席を利用しないと座席が行き届かない可能性がある。特に、下阿井地区後半で乗車する小学生は、乗車時に座席数が既に埋まっていることも起こりうる。
- ③小学1年生の手荷物を検証すると、学校用の教材図書や放課後児童クラブ用の荷物などが多く手がふさがっていることがある。入学後間もない小学生が、バスの中で立って乗車するとバスの発進、急制動の際に転倒などの危険を伴う可能性がある。

III 検討が必要な対策

これまで提出した意見等と一部重複しますが、上記の通り明らかとなった課題について、次の2点について検討頂きますようお願いします。

- 1) 統合小学校への登校は、低学年が確実に着席可能な座席数が十分に確保できるようスクールバスまたは小学生登校専用バスによる運用を検討してください。
- 2) 「通学サポート」の役割の一つとして、バス通学に不慣れな1年生等が転倒などしないよう「見守り」や「指導」を想定しています。登校時の路線バスは、小学生の占有状態となり大人の目が行き届かない状況となることが想定されますので、「通学サポート」を統合初年度だけでなく、継続して配置するよう再度検討してください。